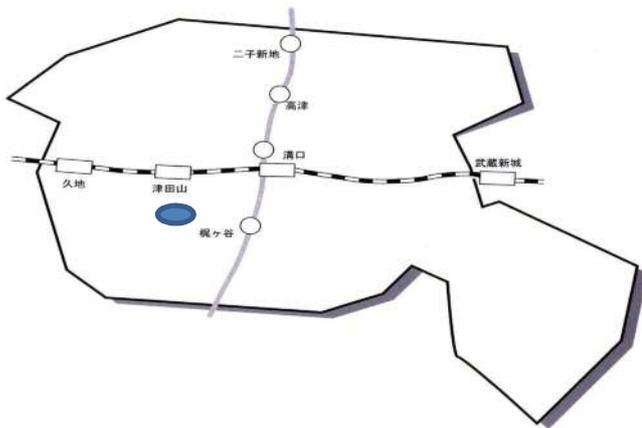


県公社上作延住宅木葉会

～週1回集会場で開催する、参加者が思い思いに過ごす高齢者のサロン～

1 町の概要



- ・高津区の南西部、上作延小学校の近くにある県公社の集合住宅。S42築で、4棟（5階建てが3棟、4階建てが1棟）からなる。
- ・自治会の活動としては、毎月第1土曜日の定例会、毎月第3日曜日の掃除と、敬老会、旅行が行われている。旅行には30人前後の参加がある。
- ・自治会役員の任期は2年で、数年継続することが多い。また階段ごとに班長（連絡員）が順番に選任され、1年交代で務める。
- ・長年担当の民生委員は近隣の方だが、協力関係は良好。

【DATA】（県公社上作延住宅）

■世帯数 114世帯

2 サロンを立ち上げたきっかけ

○ 高齢者が外に出る機会を提供する

木葉会のマネージャー（現自治会長の妻。自治会内では地域包括支援センターの担当で、地域包括ケア連絡会議に老人会長と共に出席している。）は入居して23年目。入居した当時は子供会の活動を通じて入居者間の交流があったが、団地内の子供の数が少なくなり、

子供会も休止になった。入居者も皆、年を取り、自治会会員として何か出来ることをしなければいけないのではないかと思っていた。集会所を利用して外に出る機会を提供し、息抜きをしてもらいたいと思い立ち上げた。

3 活動立ち上げの準備

○ 自治会に相談

木葉会は4年前に立ち上げたが、2年継続した後中断していた。自治会総会で了解を取り、H27.4に再開した。現在は老人会の方々にも協力していただいている。

上作延第一住宅は外の人から仲のいい団地と言われているが、マネージャーは長年在住していることもあり、どこにどのような人がいるのか把握していたため、対象となる高齢者に声掛けをすることが出来た。

4 サロンの開催

○ 参加者が思い思いに過ごすサロン

木葉会は上作延住宅の集会場（会場費は無料）にて、毎週木曜日の11:30から13:30まで開かれている。集会場には卓球台やストレッチマシン、跳び縄も備え付けてあり、毎回15名前後が参加している。参加者は、将棋、麻雀、折り紙、縫い物等、それぞれが思い思いに好きなことをして過ごしている。また食材を各自で持ち寄ったりして、料理を1、2品（ゴーヤちゃんぷる、豚汁、ほうとう等。ゴーヤは集会所の外に植えたもの。）を提供しているが、参加者も切る、煮る等の役割を担っている。その他各自が食べ物を持ち寄ったりしている。

マネージャーは参加を促したり、内容により適当な人に役割を担ってもらったりして、サロン運営の調整役を務めている。

参加者は、将棋、麻雀、折り紙、縫い物等、それぞれが思い思いに好きなことをして過ごしている。



○ 気になる高齢者の発見の契機に

参加者から「最近〇〇さんを見かけない。」等、気になる高齢者の情報が入ることがある。そのような際にはマネージャーが電話や訪問により状況を確認し、介護サービスのアドバイスをしたり（マネージャーは介護ヘルパー）、内容によっては地域包括支援センターや民生委員に繋いだりしている。

5 地域活動の広がり

○ 高齢者の交流の場から、地域でのふれあいへ

町会から町内の見回りの動員を求められることがあるが、少しの手当が出ることもあり、自治会、老人会で声を掛けて出してもらっている。以前上作延小学校から依頼があったスクールガード（小学校通学時の交通安全の見守り）を今年はやろうと声掛けしたところ、20名が集まり、2名ずつ2箇所で開催している（期間は4～7月と、夏休み、冬休み明けの1週間）。また小学校のクラブボランティア（地域の人が小学校に行き、得意としていることを伝える）にも、団地から4名が年10回、1回45分で活動している。活動に参加することで、メンバー同士、小学生、保護者が顔見知りになれるという効果が生じている。

6 今後の課題・目指す姿

- ・参加者が15名前後のため、もっと多くの方に集会所を利用して欲しいと思っている。役員会での周知のほか、回覧板、掲示板を使って広報に努めている。
- ・マネージャーの時間の都合で13:30までとなっているが、他にサロンの世話をしてくれる人がいれば、時間を延長して、余り出来ていない卓球をすることも出来る。
- ・集会場を飛び出して、公園にて皆でお弁当を食べる等の企画が出来れば良いとも思っている。参加者が高齢者のため、そのためには送迎をしてくれる人が必要になる。

食材を各自で持ち寄ったりして、料理を1、2品（ゴーヤちゃんぷる、豚汁、ほうとう等。ゴーヤは集会所の外に植えたもの。）を提供しているが、参加者も切る、煮る等の役割を担っている。

